

石油温風暖房機事故の概要について

平成17年1月5日～平成17年11月21日までに発生した4件の事故の概要について以下に示す。

- (1) 平成17年1月5日、福島県南会津郡伊南村^{いなむら}のペンションで発生。
- ・石油温風機（松下電器産業株式会社（以下「松下電産」という。）製FF式石油温風機OK - 3527HA）から漏れた一酸化炭素（以下「CO」という。）により、小学6年生の男子1名（当時12歳）が死亡。父親（当時40歳）も重体となり現在も入院中。
- (2) 平成17年2月23日、長野県茅野市の個人宅で発生。
- ・石油温風機（松下電産製FF式石油温風機OK - 3527）の2次エアホースに亀裂が入り、COが漏れたことによる事故。
 - ・妻（年齢不明）の気分が悪くなり救急車で病院に搬送。処置後一旦帰宅。
 - ・翌日、夫（年齢不明）の気分が悪くなり、妻と共に病院に行ったところ、CO中毒と診断された。妻は、2月24日に入院し、3月3日に退院。夫は、2月24日に入院し、3月2日に退院。
- (3) 平成17年4月13日、長野県長野市の美容室で発生。
- ・石油温風機（松下電産製FF式石油温風機OK - 3527）の2次エアホースに亀裂が入り、COが漏れたことによる事故。
 - ・従業員（当時40代、女性店長）と客（当時60代、女性）の気分が悪くなり、女性客は夫の車で病院に行った。
 - ・その後、経営者（当時64歳、女性）も気分が悪くなり、近くの医院に行った。その医院の医師がCO中毒のおそれがあるとして119番通報。医院から美容室に戻っていた経営者と従業員が救急車で病院に搬送され、CO中毒との診断を受け、経過観察のために2名は入院し、翌日退院。
- (4) 平成17年11月21日、長野県上田市の個人宅で発生。
- ・事故現場には、石油温風機（松下電産製FF式石油温風機OK - 3537）が使用されていた形跡がある。
 - ・夫婦2名のうち、妻（当時52歳）が死亡、夫（当時56歳）が重体で現在も入院中。いずれもCO中毒との診断がなされている。